

モダン建築
龍谷大学大宮学舎
保存と活用

2023 年度
文化遺産学
シンポジウム

「龍谷大学大宮学舎がなぜモダンな
擬洋風建築になったのか？」

入澤 崇（龍谷大学学長）

「擬洋風建築のなかで本学建造物群
が有する建築史的な特徴は？」

清水 重敦（京都工芸繊維大学
デザイン科学域長）

「今日における文化財建造物の
保護と未来にむけて」

豊城 浩行（前文化庁文化財監査官）

2023.12.16 sat

龍谷大学 大宮学舎 東翼 101 教室 13:30 ～ 16:30



〔主催〕龍谷大学 文学部

モダン建築 龍谷大学大宮学舎 保存と活用

開催主旨と目的

明治初年の社会の変革に伴う文明開化の気風は、明治新政府の方針として西洋化をめざした教育や文化・殖産興業を推し進めるきっかけとなった。その象徴として、日本の大工棟梁が西洋建築を真似て造った擬洋風建築などがある。一方、急激な西洋化や神仏分離令に伴う廃仏毀釈の動きは、日本の仏教界のみならず、伝統文化や価値観、さらには文化遺産保護にとって最大の危機であった。

このような状況の中で、文明開化の象徴となった鹿鳴館や東京帝国博物館の造営以前の明治 12 年に龍谷大学本館・北翼・南翼・旧守衛所などの建物群は造られた。

本シンポジウムでは、このような明治初期の気風を有する擬洋風建築のうち、西洋化を推し進める政策主導で建築された郡役所や小学校などとは一線を画す龍谷大学大宮本館などの文化遺産が造営された歴史的・文化的な背景や将来に向けた保存と活用について、学内のみならず広く一般の方々にも知っていただき、龍谷大学が所有する文化遺産のより良い未来を考えるきっかけとなることを主目的とする。

プログラム

- 13:30 開会挨拶 (龍谷大学文学部教授 國下多美樹)
- 13:35 基調講演 1 「なぜ龍谷大学大宮学舎本館などは
擬洋風建築となったのか? その背景と今後」
(龍谷大学学長 入澤 崇氏)
- 14:15 基調講演 2 「明治初期に登場する西洋建築と擬洋
風建築、本学大宮学舎の建築史的な特徴とは?」
(京都工芸繊維大学教授 清水 重敦氏)
- 14:55 休憩
- 15:10 基調講演 3 「今日における文化財保護の現状と活
用の未来にむけて」
(前 文化庁文化財監査官 豊城 浩行氏)
- 15:50 総合討論
- 16:30 (登壇者)
入澤崇氏、清水重敦氏、豊城浩行氏
(コーディネーター)
龍谷大学文学部教授 北野信彦



『慶讃会四箇法要之図』

参加申し込み こちらのサイトからお申し込みください。
<https://forms.gle/zyCmN5inUdPKWJBu6>



アクセス

- JR 東海道本線・近鉄京都線・京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約 10 分 (市バス約 3 分)
Approximately 10 minutes on foot from JR Kyoto Station (Tokaido Line), Kyoto Station (Kintetsu Kyoto Line), Kyoto Subway Station (Approximately 3 minutes by bus)
- JR 山陰本線 (嵯峨野線)「梅小路京都西」駅から徒歩約 10 分
Approximately 10 minutes on foot from JR Umekoji-Kyotonishi Station
- 阪急京都線「大宮」駅から市バス約 5 分「七条大宮」下車
Approximately 5 minutes by bus from Hankyu Omiya stop at Nanajo-Omiya Station
- 京阪本線「七条」駅から徒歩約 20 分
Approximately 20 minutes on foot from Keihan Shichijo Station
- ※車での来校は、ご遠慮くださいますよう、お願いいたします。
As parking is limited, please use public transportation.

大宮キャンパス

文学部 (3・4年生) Faculty of Letters (Juniors and Seniors)
 心理学部 (3・4年生) Faculty of Psychology (Juniors and Seniors)
 大学院 (文学・実践及宗学研究科) Graduate Schools (Letters・Practical Shin Buddhist Studies)



〒600-8268 京都市下京区七条通大宮東入大工町 125-1
 125-1 Daiku-cho, Shichijo-dori, Omiya Higashi-iru, Shimogyo-ku, Kyoto 600-8268
 Tel. 075-343-3311